

そうだ！夏休みだ！本を読もう！！

沼高「図書館通信」第70号・特別付録

▼ 特集 ▼

～ふるさと千葉県が舞台 Or

千葉県出身の作家による小説～

◆『ふなふな船橋』

よしもとばなな 著

・舞台は船橋。主人公“花”は15年前に別れた母からもらった梨の妖精のぬいぐるみを今でも大切にしている…。海老川周辺、ららぽーとやIKEAの名前も登場する優しい物語。

◇『AXアックス』

伊坂幸太郎 著

・千葉県出身の作家。2017年本屋大賞ノミネート作品。殺し屋シリーズの最新作である。「カマキリ(恐妻家)の斧(アックス)を甘く見てるなよ」…。家族は知らない仕事なのだ…。

◇『カルテット』

鬼塚忠 著

・舞台は浦安。家族の崩壊を救ったのは、クラシック音楽だった♪…。バイオリニストを目指す主人公“開”が、失業中の父、息子に期待する母、劣等感の塊となってしまった姉を…。

◆『永遠の出口』

森絵都 著

・舞台は総武線。普通の少女の10~18歳までの9年間を綴っている。12歳の紀子は国鉄で千葉駅へ、千葉そごうに気後れする友だち…。津田沼、八幡宿駅も登場。

◆『スカラムーシュ・ムーン』

海堂尊 著

・千葉県出身の作家。新型インフルエンザ騒動で激震した街に新たな危機が…。もうすぐ「ワクチン戦争」が勃発！？…霞ヶ関の陰謀を察知した、医療界の大ぼらふき(スカラムーシュ)とは何者？

◇『房総グランホテル』

越谷オサム 著

・舞台は南房総。東京から特急列車でわずか1時間20分、青い海と月色の砂浜が美しい南房総。この町で生まれ育った17歳の高校生は、民宿「房総グランホテル」の看板娘。この夏とびっきりの奇跡が…!?

◆『リーチ先生』 原田マハ 著

・舞台は我孫子。英国人陶芸家、バ
ナード・リーチ氏の史実に基づい
たフィクション。日本の美を愛し続
けた氏は、我孫子釜で夢を叶えた…。

◇『みかづき』 森絵都 著

・舞台は千葉県。2017年本屋大賞
第2位。教育をテーマに塾の経営
に携わる三世代の人間模様を描い
た感動作品…。

◇『きらきら眼鏡』

森沢明夫 著

・舞台は船橋。古書店で手にした一
冊の本。そこに挟まれていた名刺の
人物と出会い惹かれていくが彼女に
は余命宣告を受けた恋人の存在が…

◆『出発進行! 里山トロッコ列車』

かこさとし 著

・舞台は里山~養老溪谷。絵本作
家である著者は今年5月7日死去。
2015年から走っている[トロッコ列車]
を優しい絵と詳しい文章で紹介…。

▲ この他の作品も[特設コーナー]で紹介中!! 先着順にて貸出始まっています!! ▲

第64回 青少年読書感想文コンクール

※ 高等学校の部・課題図書



～読んで世界を広げる、書いて世界をつくる～

◎カウンターで紹介しています。コンクールに関係なく、気になったら、
借りてみてください。コンクールについて詳しく知りたい人は司書まで!!